

令和7年度地域と学校の連携・協働体制構築事業目標及び達成状況と評価について

課題の類型	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
学校と地域の課題	R6年度では地域愛の醸成と貢献を目標にした中学生ボランティアを拡大し、年間延べ400人以上の参加者があったものの、アンケートにおいて「活動を通して地域のことが好きになったか」の問に対して、R5年度のアンケート結果よりも低い数値に留まった	R6のたくまるボランティア（中学生ボランティア）の活動は継続しつつ、「スペシャルたくまるボランティア」というもう一歩踏み込んだ活動を行い、地域を愛する心を育む	地域の活動に参加する意欲はあるが、地域愛を育むまでには至っていない。その為に1年間を通して、自分が「地域のために何がしたいか？」「何が出来るか？」という視点を持って企画・運営にまで関わる取組を実施する	地域のまつり等で自分たちの企画・運営した活動を行うことで、地域への愛着が深まる	アンケートでの地域愛についての肯定的な割合	79%	85	79	アンケート1回目（1学期終わり）・2回目（3学期はじめ）共に、同じ79%で目標値には届かなかった。活動自体が3年目突入し、内容や参加する人も固定化されつつある現状のため、数値が伸びなかったと考えられる。しかし、今年度は自主的に行事への計画段階からの参画や、CM大賞に応募など新しい取り組みを自主的に行うなど地域に目を向けることには一定の成果があったと考える。
学校と家庭の課題	R5年度からステップアップルームの支援を行い、現在も同様に支援を行っているが、特定の児童・保護者への支援となっている。個別の支援相談等も学校と保護者の双方向からあるのが理想だが、どうしても学校側からの物に偏っている。	小学校へは参観日での相談窓口や中学校のステップアップルームの支援などそれぞれの問題に個別に柔軟に対応しつつ、子育てカフェを積極的に開催し、保護者から相談できる環境を充実させる。	子育てカフェを実施し、様々な方をゲストとして招き、いつでも誰でも参加できる体制を整える	既に支援している事は継続しつつ、子育てカフェを開催することで、家庭教育支援チームの存在が身近なものになり、家庭と学校とを結びつける存在となる。	子育てカフェの開催日数	3回	6	8	子育てカフェを子ども食堂とコラボして行うなど、様々な場所や形態で行い、保護者のニーズに応えることができ、利用者も増加した。しかし、利用者が小学生が大多数を占めており、幼児や中・高生に対するアプローチを今後していく必要がある。また開催日の設定でも課題があるので、改善していきたい。